

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (746), 課コード (0604), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status indicator and a comment box.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (749), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市民の参加や市民との協働, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (750), 課コード (0604), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section for the project.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sub-tables for budget, personnel, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section.

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (751), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget table for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the effectiveness of the drainage plan and future improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (752), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status (現状) and improvement directions (改善策及び展開方向).

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (753), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed financial breakdown table.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including a summary table and a comment box for improvements.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	755	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	排水施設堆積物撤去業務		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・治水課	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.26人		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	22,262千円		当該(開始)年度	(当初)	22,262千円 (うち人件費 2,262千円)			
					(変更後)	24,262千円 (うち人件費 2,262千円)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	道路や宅地内に降った雨を円滑に排除するために、排水施設の調査及び堆積物撤去工事を行い、十分その機能を発揮できるように維持する。				
(3) 事業内容	内容	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事。			当該年度執行計画	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事。(4月～3月まで)				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	堆積物撤去工事により、排水施設の機能を十分発揮できる。				直接	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事箇所数		箇所	21	21
令和3年度	堆積物撤去工事により、排水施設の機能を十分発揮できる。				直接	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事箇所数		箇所		20
令和4年度	堆積物撤去工事により、排水施設の機能を十分発揮できる。				直接	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事箇所数		箇所		20
(7) 事業実施上の課題と対応	雨水排水施設が多いために十分な調査が出来ないところがあり、苦情等が出てから対応することもある。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度			令和3年度		令和4年度	
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		堆積物撤去工事費	17,700	堆積物撤去工事費	17,000	堆積物撤去工事費	17,000	堆積物撤去工事費	17,000	
		堆積物撤去工事費(下水道特会)	5,000	堆積物撤去工事費(公営企業会計)	5,000	堆積物撤去工事費(下水道特会)	5,000	堆積物撤去工事費(下水道特会)	5,000	
		予算(決算)額	合計	22,700	合計	22,000	合計	22,000	合計	22,000
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		17,700		17,000		17,000		17,000	
	その他の財源	■特会 □受益 □基金 □その他	5,000	■特会 □受益 □基金 □その他	5,000	■特会 □受益 □基金 □その他	5,000	■特会 □受益 □基金 □その他	5,000	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.26		0.26		0.26		0.26		
	正職員人件費	2,288		2,262		2,262		2,262		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	24,988		24,262		24,262		24,262		
(11) 単位費用	(事業費/活動結果指標)	1,249.4千円/箇所		1,213.1千円/箇所		1,075.67				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)												
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討			
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	道路や宅地内に降った雨を円滑に排除するために、排水施設の調査及び堆積物撤去工事を行うことで、排水施設の機能を維持することができた。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 堆積物撤去工事を行うことで、排水施設の機能を維持することができた。				○要 ●不要			
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要			
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 該当なし				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				実施した具体的な内容 該当なし				環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(箇所)	目標値(b)(箇所)	目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況	実績値(f)(箇所)	達成率(%) (b/f×100)	●①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 想定どおり、堆積物撤去工事を行った。				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実施状況	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況	実績値(h)	対目標値(%) (e/h)×100	○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>				

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント 排水施設の機能を維持するためには、定期的な堆積物撤去工事が必要不可欠であり、今後も現状どおり推進する必要がある。				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 756 課コード 0604 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 市街地での浸水被害を軽減するため...
(3) 事業内容: 排水施設周辺の環境を保全するために...
(4) 達成目標(期待する成果): 市民生活の安全と流水断面の確保及び河川環境を保全する。
(7) 事業実施上の課題と対応: 市民の要望・苦情に対し、委託業者との連絡を密にする。

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 排水施設の周辺環境を良好な状態にすることで、排水施設の適正な維持管理ができることから、今後も現状どおり推進する必要がある。
改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (757), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including status (ongoing, completed) and comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	758	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	法定外公共物(水路)の管理		実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	建設部・治水課						
	③事業主体	<input checked="" type="radio"/> 市 <input type="radio"/> その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市									
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.3人									
	⑦事業費(人件費含む)	総事業費	2,610千円		当該(開始)年度	(当初)	2,610千円 (うち人件費 2,610千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	法定外公共物(水路)を常に良好な状態に管理し、適正な利用が図れるようにする。									
(3) 事業内容	内容	法定外公共物(水路)は行政財産であるので、工作物(電柱等)を設置するなどの工事を行う時、又は占用(宅地出入口の橋等)する時は、市の許可を得、それに伴う使用料を納めなければならない。このことにより、法定外公共物(水路)の維持・管理に支障をきたす工作物の設置を防ぐことができる。			当該年度執行計画	3月 更新を迎える占有者の把握 4月 更新通知郵送・占用料使用料の請求書郵送 6月 未更新者へ督促 8月 占用料使用料未納者へ督促									
		当該年度活動結果指標	占用料使用料の件数(90件+新規申請見込み5件)		単位	件	想定値	95		実績値	92				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	法定外公共物(水路)の占用申請(更新)を提出及び新規使用者の申請の徹底。				直接	占用料の徴収率		%	0	100					
令和3年度	法定外公共物(水路)の占用申請(更新)を提出及び新規使用者の申請の徹底。				直接	占用料の徴収率		%		100					
令和4年度	法定外公共物(水路)の占用申請(更新)を提出及び新規使用者の申請の徹底。				直接	占用料の徴収率		%		100					
(7) 事業実施上の課題と対応	関係地権者の境界への疑問や不満に対し、わかりやすい説明を行う				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			法定外公共物の占用申請の徹底	0		法定外公共物の占用申請の徹底	0	0	0		法定外公共物の占用申請の徹底	0		法定外公共物の占用申請の徹底	0
		予算(決算)額	合計		0	合計		0	0	合計		0	合計		0
		(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	
(10) 人件費等	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0			
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0			
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0			
	一般財源		0		0	0	0		0		0	0			
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	0	0		
換算人数(人)	0.29		0.3		0.3		0.3		0.3		0.3				
正職員人件費	2,552		2,610		2,610		2,610		2,610		2,610				
嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0		0				
臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,552		2,610		2,610		2,610		2,610		2,610				
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)	27.15千円/件		27.47千円/件		28.37										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	平成11年7月に成立した「地方分権の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」により水路等の法律によらない法定外公共物の管理は、機能管理、財産管理ともに市町村の自治事務として行うこととなったため。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 法定外公共物(水路)を適正に管理するために、その許認可・使用料の徴収を実施する必要がある。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 法定外公共物の管理は、その管理者である市で行う必要がある。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 法定外公共物(水路)の使用料について、予定どおり徴収することができた。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	2,610	△58	<削減の内容>		2,610	100	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		△2.27							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	3.83	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		%	10万円		3.83	100			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					
	法定外公共物(水路)の機能を維持するためには、適正に管理する必要がある、今後も現状どおり推進する必要がある。									

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	759	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	建設部・治水課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.15人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	1,405千円		当該(開始)年度	(当初)	1,405千円 (うち人件費 1,305千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整地などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	境界確定申請箇所の官・民境界の確定					
(3) 事業内容	内容	市と申請人、代理人（測量士等）及び関係地権者と共に申請箇所の境界立会を行い、境界同意を得、境界標の設置、確定図の作成。			当該年度執行計画	境界確定の申請に応じ、境界確定をおこなう。（随時）					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	%	想定値	100	
当該年度	境界同意を得る。境界標の設置。境界確定図の作成。	直接	境界確定率 (境界確定件数/申請件数)		%	100	(5) 現況値		(6) 目標値	100	
令和3年度	境界同意を得る。境界標の設置。境界確定図の作成。	直接	境界確定率 (境界確定件数/申請件数)		%					100	
令和4年度	境界同意を得る。境界標の設置。境界確定図の作成。	直接	境界確定率 (境界確定件数/申請件数)		%					100	
(7) 事業実施上の課題と対応	関係地権者の境界への疑問や不満に対し、分かりやすい説明を行う。	代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			境界確定業務 水路境界杭購入費	100 92		境界確定業務	100	0		境界確定業務	100
		予算(決算)額	合計	192	合計	100	0	合計	100	合計	100
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		192		100	0		100		100	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.14		0.15	0.15		0.15		0.15	
	正職員人件費		1,232		1,305	1,305		1,305		1,305	
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0	0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		1,424		1,405	1,305		1,405		1,405	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			14.24千円/%		14.05千円/%	13.05					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討	
	申請者のさまざまな理由により境界確定の申請がある。また、公共用地を適切に管理するためにも境界確定は必要である。			●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 境界確定業務を行うことにより、公共用地を適切に管理することができた。				○要 ●不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他			■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要	
	○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他								
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし			該当なし				○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境への配慮	配慮の視点			実施した具体的な内容				環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし			該当なし				●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 関係地権者の協力により、境界を確定することができた。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	1,405	19	<削減の内容>		1,305	92.88	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	7.12		単位	費用単位	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		%	10万円		7.66	107.58			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				
	公共用地を適正に管理するためには、境界確定業務は必要不可欠であり、今後も現状どおり推進する必要がある。									

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (760), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for Heisei 31, Reiwa 2, Reiwa 3, and Reiwa 4.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section for drainage facility maintenance.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (761), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed table for financial and performance metrics.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1537	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	建設部・治水課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市									
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	7人 (換算人数)		0.65人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	24,355千円		当該(開始)年度	(当初)	24,355千円 (うち人件費 5,655千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	市内全域における浸水箇所の浸水被害を軽減させる。								
(3) 事業内容	内容	市内全域において、常襲的な浸水被害発生地又近年の突発的な集中豪雨により浸水被害が発生した地域の雨水排水施設の改修及び浸水対策施設の設置等を行い、浸水被害を軽減させる。			当該年度執行計画	緊急浸水対策工事（側溝改修、U字溝蓋のグレーチング化、集水樹の増設など）の実施（通年）								
		当該年度活動結果指標	緊急浸水対策箇所数	単位	箇所	想定値	5	実績値	5					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	市内浸水箇所の浸水被害軽減				直接	緊急浸水対策箇所数		箇所	0	5				
令和3年度	市内浸水箇所の浸水被害軽減				直接	緊急浸水対策箇所数		箇所		5				
令和4年度	市内浸水箇所の浸水被害軽減				直接	緊急浸水対策箇所数		箇所		5				
(7) 事業実施上の課題と対応	浸水箇所でも5年確率降雨に対応する排水施設及び面整備されていない地域は、抜本的な解決策とはならないことから、5年確率降雨に対応した施設整備を進める。また、近年の突発的な集中豪雨は、5年確率降雨以上の雨が降り被害が大きくなっているため、被害軽減に向けた対策が必要である。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		緊急浸水対策工事	18,000	緊急浸水対策工事	18,000	緊急浸水対策工事	17,941	緊急浸水対策工事	18,000	緊急浸水対策工事	18,000			
		設計業務委託	500	設計業務委託	500	設計業務委託	0	設計業務委託	500	設計業務委託	500			
		支障物件移設補償費	200	支障物件移設補償費	200	支障物件移設補償費	0	支障物件移設補償費	200	支障物件移設補償費	200			
予算(決算)額	合計		18,700	合計	18,700	合計	18,700	合計	18,700					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0				
	一般財源	18,700		18,700	17,941	18,700	18,700	18,700						
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.68		0.65	0.65	0.65	0.65							
	正職員人件費	5,984		5,655	5,655	5,655	5,655							
	嘱託職員報酬額	0		0	0	0	0							
	臨時職員賃金額	0		0	0	0	0							
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	24,684		24,355	23,596	24,355	24,355	24,355							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	4,936.8千円/箇所		4,871千円/箇所	4,719.2										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	浸水被害常襲地及び近年の集中豪雨による浸水被害地で床上浸水の被害が発生している。雨水の収集施設を設置することにより被害の軽減が図れる。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 緊急浸水対策として事業を実施することで、浸水被害を軽減することができた。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 緊急浸水対策として設置する雨水排水施設は市の施設であり提供主体は市しかない。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (箇所)	目標値(b) (箇所)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	0	5	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (箇所)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 排水対策工事の計画実施を予定どおり実施できたため。		
	5	100			5	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	2.05	単位 費用単位 箇所 1000万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 排水対策工事の計画実施を予定どおり実施できたため。		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	抜本的な浸水対策には長期的期間を要することから、短期的な対策として浸水施設を整備することで浸水被害を軽減するのに有効であることから、今後も現状どおり推進する必要がある。									

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1568), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and a text box for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1781), 課コード (0604), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and a text box for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1976), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (□政策 □經常 ■なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2162), 課コード (0604), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a note about flood damage reduction in the Aomori region.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2164	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	雨水排水施設台帳の整備		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・治水課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	平成28年度 ~			⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.72人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	80,000千円		当該(開始)年度	(当初)	10,741千円 (うち人件費 6,264千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	雨水排水施設台帳のシステム化を行い、計画的な改築・更新・維持管理を行う。						
(3) 事業内容	内容	下水道事業公営企業会計への移行に伴い、下水道台帳管理システム・固定資産台帳システムが導入されることから、雨水排水施設についても市内の既存施設の調査を行い、雨水排水施設台帳システムを構築し毎年最新の排水施設データに更新することにより計画的な改築・更新・維持管理を行う。			当該年度執行計画	雨水排水施設台帳の作成を行う。(5月~3月) 雨水排水施設データ更新作業を行う。(5月~8月) 統合型GISシステムの導入検討を行う。(4月~3月)						
		当該年度活動結果指標	雨水排水施設台帳の作成の進捗率		単位	%	想定値	100		実績値	16	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	雨水排水施設現況調査更新、雨水排水施設台帳の作成を行う				直接	雨水排水施設台帳の作成の進捗率		%	16	100		
令和3年度	統合型GISシステムの導入				直接	統合型GISシステムの導入作業の進捗率		%		100		
令和4年度	雨水排水施設データ更新作業を行う。				直接	雨水排水施設のデータ更新作業の進捗率		%		100		
(7) 事業実施上の課題と対応	台帳システム導入のためには既存雨水排水施設及び法定外公共物の把握が必要不可欠であるが、市内全域の調査は複数年に渡り調査を行う必要がある。そのため、台帳システム構築と並行して調査を行い、順次台帳システムに反映させていく。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	雨水排水施設調査(新木・布佐地区) * 台帳システム導入検討	16,200	*	雨水排水施設台帳作成 (データ更新作業含む) * 統合型GISシステム導入検討 雨水排水施設現況調査更新	4,477	715	*	統合型GISシステムの導入 雨水排水施設台帳更新		
		予算(決算)額	合計		16,200	合計		4,477	715	合計		0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源		16,200		4,477	715				0		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.62		0.72		0.72		0.72		0.3		
	正職員人件費	5,456		6,264		6,264		6,264		2,610		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	21,656		10,741		6,979		6,264		2,610		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	866.24千円/%		107.41千円/%		436.19							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	下水道法により公共下水道管理者は下水道台帳を調整保管することとなり、下水道事業公営企業会計への移行に伴い、雨水排水施設台帳のシステム化を併せて行う。については、統合型GISシステムを複数課で一括導入することで、より安価にシステム化を行うことができる。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 雨水排水台帳の整備は、雨水排水施設の管理者である市で行う必要がある。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		<その他の内容> 該当なし		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 該当なし		該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要
	16	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 雨水排水施設現況調査更新が完了した。		
					16	16			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因> 雨水排水施設台帳作成を翌年度に繰越したため。		
		50.4		<削減の内容>		<超過理由等> 雨水排水施設台帳作成を翌年度に繰越したため。			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		○要 ●不要
	9.31	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 雨水排水施設台帳作成を翌年度に繰越したため。		
		%		100万円		2.29		24.6	

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価コメント	改善策及び展開方向
雨水排水施設台帳のシステム化を構築するにあたり、雨水排水施設の計画的かつ効率的な改築・更新・維持管理が可能になることから、今後も現状どおり推進する必要がある。	

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2222), 課コード (0604), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and improvement directions.

Final summary table with columns for evaluation comments and improvement directions.